

活動名	IRC国際大会 (International Rocketry Challenge) 参加協力
-----	---

貢献・連携類型	4. 小中高大連携・協力
---------	--------------

報告者	航空宇宙工学科	学科	職位	教授	氏名	高橋 賢一
-----	---------	----	----	----	----	-------

概要（実施したこと、進捗状況等）について記述してください。

IRC国際大会はモデルロケットの国際大会で、今年はイギリスで行われました。横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校のチームがモデルロケットの国際大会に出場するために、本学の二和校地にて練習の場を提供し、打ち上げにも協力しました。このチームは今年の国際大会において3位に入賞しました。

このような活動は、関東地域におけるモデルロケットの活動の活性化を図り、学生たちの社会貢献を推進しています。本学部での活動が広く知られ、モデルロケットに関わる社会で重要な役割を担っています。この活動を知ったことで、他校からの問い合わせも増えています。

また、日本モデルロケット協会と協力し、日本におけるモデルロケットの活動の発展に寄与しています。

今後の展望、本活動で得られた成果を記述してください。

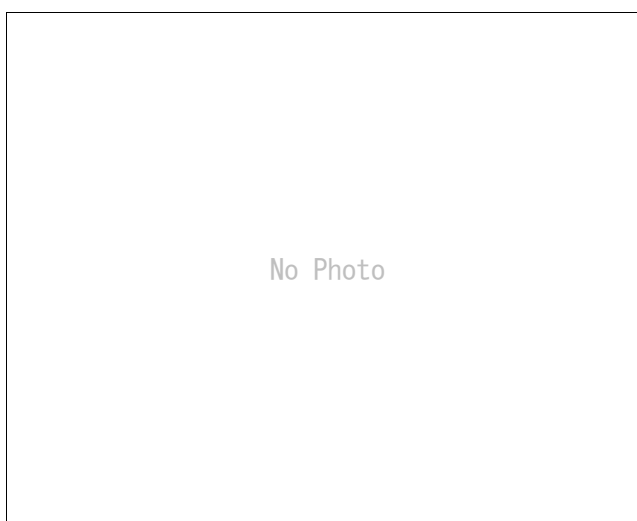
このような活動をたびたび行っており、他大学、高校、中学校などとの交流が生まれ、交流会などのイベントも行っています。本学部の活動から交流は広がりつつあり、今後も継続する予定です。

対象・相手先	横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校
--------	------------------------

協定書・依頼の有無（具体的に記入）	なし
-------------------	----

実施日時	令和6年5月18日、6月15日 10時～17時
------	----------------------------

場所	日本大学理工学部二和校地
----	--------------



本学からの参加者
航空宇宙工学科 教授 高橋賢一
未来博士工房／日大ロケット研究会・学部生約5名



日大
理工